

山口県下関市で国産SAF原料となる家庭からの廃食油回収を開始 ～国内で初めて、学校法人に回収ボックスを常設する取り組みがスタートします～

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:鳥取三津子、以下「JAL」)は、下関市の協力のもと、学校法人梅光学院(山口県下関市向洋町、学院長:樋口紀子、以下「梅光学院」)において、家庭から出る廃食油の回収ボックスを設置し、回収を開始します。学校法人に回収ボックスを常設し回収を行うのは、国内で初めての試みです。JALは、2050年までにCO2排出量実質ゼロ(ネット・ゼロエミッション)を目指し、航空機の脱炭素化を推進しています。その一環として、家庭から出る廃食油を原料としたSAF(持続可能な航空燃料)製造に関するプロジェクト「すてる油で空を飛ぼう」を実施しています。

梅光学院では大学3年次にPBL(課題解決)^(※1)型ゼミを実施しており、JALと連携したゼミでは「SAFの地域における認知・広報活動」をテーマに学生が主体となり課題解決への取り組みを実施しています。未来を担う、中高生や幼稚園児も広くSAFを学び、持続可能な社会に向けた取り組みを実践しています。

JALは、これからも共通の目標である持続可能な社会の実現に向けて、今回の廃食油回収を通して食品ロスの削減とSAF製造を推進し、環境負荷の低減に貢献してまいります。

(※1) Project Based Learning(プロジェクト型学習)またはProblem Based Learning(問題解決型学習)の略で、課題解決能力を養う学習方法です。学生が主体的に課題を発見し、解決策を検討・実行する過程で、知識やスキルを習得します。

廃食油の回収・リサイクルの流れ



*1 Used Cooking Oilの略称

<「すてる油で空を飛ぼう」プロジェクトについて>

航空機の脱炭素化を進めるため、ご家庭の廃食油を回収し、SAFへの再利用を呼びかけるJALが進めるプロジェクトです。店頭で参加費220円(税込)にてご参加いただけます。ご参加いただいた方には、回収ボトル1つとJALオリジナルステッカーを差し上げます。

「すてる油で空を飛ぼう」プロジェクト URL:

<https://www.jal.com/ja/sustainability/environment/climate-action/saf/uco/>

<廃食油の回収について>

1. 回収場所

以下の学校内の回収ボックス

■梅光学院大学:山口県下関市向洋町1丁目1-1

・8月1日(金) 13時30分に梅光学院大学内で当プロジェクト開始に際してのセレモニーを実施します。

セレモニー会場 :梅光学院大学内、クロスライト

セレモニー出席者:下関市副市長 島崎 敏幸

梅光学院学院長 樋口 紀子

日本航空株式会社 執行役員九州・山口支社長 猿渡 美穂

・回収開始日時:8月1日(金) 14時

※同日 14時~14時30分の間、学校内で告知イベントを実施します。

■梅光学院幼稚園:山口県下関市大学町3丁目1-3

■梅光学院中学校・高等学校:山口県下関市丸山町2丁目9-1

2. 回収日

原則毎日 ※学校の営業時間に準じます。

3. 回収方法

ご家庭で集めた廃食油を、回収ボックスに直接流し込みます。



4. 学校内のボックスで回収できる油は次のとおりです。ご確認の上、お持ちください。

回収できる油	
常温で 液体 の植物性油 (例)サラダ油、ごま油、なたね油、コーン油、紅花油、米油、大豆油、ヒマワリ油、オリーブオイル 等	
回収できない油	
1. 常温で 固形 の植物性油	(例)マーガリン、ショートニング、パーム油、ヤシ油
2. 鉱物系油	(例)灯油、エンジンオイル
3. 動物性油	(例)バター、ラード、魚油、鯨油
4. 食品や香辛料など混ざった油	(例)ドレッシング、ラー油、ネギ油、フレーバーオイル
5. 事業系油	(例)飲食店など事業から出る油

【本件に関するお問い合わせ】

日本航空株式会社 国産SAF推進タスクフォース uco@jal.com

学校法人 梅光学院 unioffice@baiko.ac.jp